

当院において子宮頸癌に対して

重粒子線治療を施行された方及びご家族の方へ

量子科学技術研究開発機構では、子宮頸癌に対する重粒子線治療における治療効果予測法の確立を目的として診療録（カルテ）から得られた記録を解析することによって研究を行います。2つの方法を想定しており、一つは臨床の因子を数的に扱い治療効果予測のモデル化を試みる方法、もう一つは機械学習により予測因子を探索する方法です。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、次頁の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 子宮頸癌に対する重粒子線治療における治療効果予測：数理モデル化と機械学習

[実施期間] 許可日 ～ 2026年03月31日

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[協力/共同研究機関] なし

[研究責任者] 村田 和俊

[研究の目的] 子宮頸癌に対する重粒子線治療における治療効果予測法の確立を目的とします。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

1995年6月から2023年5月までに、QST病院において子宮頸癌に対して重粒子線治療を行った方を対象としています。

●利用する情報及び利用方法

患者背景（年齢、既往歴、合併症など）、治療内容、治療結果、採血データ、画像データ。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、ご住所、その他の個人を識別できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません。個人情報保護法及び研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2023年11月30日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。データの収集や解析は2023年12月1日以降から開始する予定ですが、その後もお申し出があった場合には可能な限りデータを取り除きます。ただし、お申し出があった時点で個人情報と切り離されて解析に用いられてしまった場合には、取り除けないことがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

QST病院 村田 和俊 電話：043-206-3306（平日9：00～17:00）

